

(第2回最終変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 7年 2月 4日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務(2023年度)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ等・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式 柱状付属構造物の耐震性能評価・・・・・・・・・・1式→1式 補強鋼板の点検孔の仕様に関する検討・・・・・・・・・・1式→1式 剥落防止性を有する透明系の表面保護材料に関する検討・・・・・・・・1式→1式 UFC床版における維持管理の運用方法および手引きの更新に関する検討 1式→1式 カーボンニュートラルの実現に向けた検討・・・・・・・・・・1式→1式 高力ボルト摩擦接合の限界状態設計法の基準化に向けた検討・・1式→1式 暴露試験片の追跡調査結果等を踏まえた基準化に向けた検討・・1式→1式 建設後の鋼管集成橋脚の性能評価に関する検討・・・・・・・・・・1式→1式 Hi-CMS実現に向けた次世代設計技術の調査検討・・・・・・・・・・1式→1式 報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式
業務期間(自)	令和 5年 12月 9日
業務期間(至)	令和 7年 2月 28日
契約金額	87,527,000 円
変更金額	913,000 円 増
変更後の契約金額	88,440,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務（2023年度）

第2回変更

第3章 業務内容

3. 2 業務内容

3. 2. 3 補強鋼板の点検孔の仕様に関する検討【変更】

（2）標準図の作成【削除】

本項では、RC床版の下面補強鋼板における点検孔の仕様を定めることを目的としている。現契約では、ヒアリング等により検討した仕様を別途工事に現場適用し、その施工図面に基づき標準図を作成することとしていた。

今般、別途工事で現場適用に先立ち実施された詳細調査の結果より、下面補強鋼板上面側の腐食や滞水の痕跡が想定以上に見受けられなかったため、更新後の下面補強鋼板に対する点検孔および水抜き孔の必要性について改めて社内調整を行うこととした。以上により、本業務において標準図の作成1式を削除する。

○変更数量

- ・標準図の作成 1式 → 0

○概算金額

約60万円減額（経費・税込）

○関連条項

- ・契約書第18条
- ・業務契約書3.2.3 補強鋼板の点検孔の仕様に関する検討

以上